



2025年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年9月12日

上場会社名 ベルグアース株式会社

上場取引所 東

コード番号 1383 URL <https://www.bergearth.co.jp/>

代表者 （役職名）代表取締役社長兼CEO兼COO （氏名）山口 一彦

問合せ先責任者 （役職名）執行役員 財務経理本部長 （氏名）野本 幸代 TEL 0895-20-8231

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年10月期第3四半期の連結業績（2024年11月1日～2025年7月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年10月期第3四半期	4,797	3.7	△220	—	△212	—	△70	—
2024年10月期第3四半期	4,628	△3.2	△151	—	△127	—	△42	—

（注）包括利益 2025年10月期第3四半期 △60百万円（－％） 2024年10月期第3四半期 △37百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年10月期第3四半期	△44.27	—
2024年10月期第3四半期	△26.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年10月期第3四半期	6,087	2,053	32.7
2024年10月期	5,677	2,120	36.4

（参考）自己資本 2025年10月期第3四半期 1,992百万円 2024年10月期 2,066百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年10月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年10月期	—	0.00	—		
2025年10月期（予想）				10.00	10.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年10月期の連結業績予想（2024年11月1日～2025年10月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	円 銭
通期	7,400	4.3	70	211.7	68	—	150	275.6

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年10月期 3 Q	1,613,580株	2024年10月期	1,610,500株
② 期末自己株式数	2025年10月期 3 Q	13,224株	2024年10月期	13,174株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年10月期 3 Q	1,598,995株	2024年10月期 3 Q	1,597,325株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フローに関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米国の通商政策等による影響が一部にみられるものの、雇用・所得環境の改善、各種政策の効果に加え、インバウンド需要の増加などにより緩やかな回復傾向となっております。一方で、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ、米国の通商政策をはじめとした政策動向による影響の広がりなどは、景気を下押しするリスクとなっており、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本国内では記録的な猛暑に見舞われており、人々の生活に影響を与えるだけでなく、厳しい環境で日々作業を行う農業従事者にとっては、猛暑は労働環境への影響だけでなく、作物への影響も深刻な問題となっており、高温障害による被害や収量減・品質のバラツキなど様々な問題に直面する中、変化する気候に対応していくための栽培技術、品種開発などが求められております。

このような状況の中、当社グループは、「日本農業の為になる、役に立つ会社になることで、農業に革命を興し、人々の食と暮らしを豊かにする」という企業理念に基づき、2024年から2028年を計画期間とする中期経営計画を策定しております。次のステップへ飛躍的に成長できるベルグアースグループを目指し、4つの事業戦略「苗事業の更なる拡大と収益力強化」「新製品・新技術の開発」「苗事業を起点とした事業領域の拡大」「事業インフラ強化」を基本方針に定め取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は4,797,778千円と前年同四半期と比べ169,668千円(3.7%)の増収となりました。損益面につきましては、営業損失220,232千円(前年同四半期は営業損失151,641千円)、経常損失212,966千円(前年同四半期は経常損失127,189千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失70,803千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失42,056千円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

セグメントの売上高につきましては、外部顧客への売上高を記載しております。

(野菜苗・苗関連事業)

当事業部門におきましては、ホームセンターを中心とする春の家庭園芸需要は、青果物の価格高騰の影響などにより増加傾向となりました。また、2025年3月より新たにベルグ福島株式会社の新設農場(鶴沢農場)が生産拠点に加わり、生産能力が拡大したことにより、関東以北を中心に受注拡大へ向けて営業推進を行ってまいりました。その結果、高齢化や人手不足などにより栽培面積が縮小する中で、トマト苗の受注が減少する一方で、生産能力が拡大したことにより、新たに関東向けのピーマン苗等の売上が増加いたしました。

損益面につきましては、12月以降は生産で使用する重油等の燃料価格が値上がりしたことなどにより、燃料費等が増加したことに加え、原材料費の値上げ等により製造経費が増加いたしました。また、当事業は労働集約型であるため、繁忙期の生産ピークにおける人材確保は不可欠となっており、年々雇用が厳しさを増す中、人材確保のための派遣雇用等が増加したことにより人件費が増加いたしました。加えて、連結子会社のベルグ福島株式会社においては、3月に新設農場(鶴沢農場)での生産を開始しており、それに伴う生産体制準備に向けた雇用増加や生産備品の購入増加などにより、製造経費が増加いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,147,465千円(前年同四半期は売上高3,967,246千円)、セグメント利益(営業利益)は143,922千円(前年同四半期比25.7%減)となりました。

品目分類別の売上高は次のとおりであります。

品目分類	売上高（千円）	前年同四半期比（％）
トマト苗	1,248,984	102.3
キュウリ苗	1,103,655	104.0
ナス苗	382,299	101.9
スイカ苗	538,264	114.0
メロン苗	298,753	103.6
ピーマン類苗（注1）	244,643	120.6
その他（注2）	330,864	95.6
合計	4,147,465	104.5

（注1）ピーマン類として、ピーマン・パプリカ・シシトウ・トウガラシをまとめて表示しています。

（注2）玉ねぎ苗、葉菜苗、花苗等を含んでおります。

規格分類別の売上高は次のとおりであります。

規格分類	売上高（千円）	前年同四半期比（％）
ポット苗（7.5cm～15cm）（注）	2,119,051	105.2
当社オリジナル（アースストレート苗、ヌードメイク苗、e苗シリーズ、高接ぎハイレッグ苗、ウィルスガード苗、ツイン苗）	1,273,393	107.1
セル苗（512穴～72穴）（注）	664,583	99.5
その他	90,436	94.1
合計	4,147,465	104.5

（注）ポット苗は、ポリエチレンのポット（ポリ鉢）で育苗した一般的な苗（当社においては、主に断根接ぎ木苗にて育苗した苗）であり、ポットのサイズが大きくなると苗のサイズも大きくなります。セル苗は、小さな穴が連結した容器（セルトレイ）で育苗した苗であり、穴数が増えると苗のサイズが小さくなります。

納品地域分類別の売上高は次のとおりであります。

納品地域分類	売上高（千円）	前年同四半期比（％）
北海道・東北	940,514	109.5
関東	1,341,921	102.1
甲信越（注）	380,545	101.5
中部・北陸	286,603	105.9
近畿・中国	426,820	98.7
四国	366,609	104.8
九州・沖縄	404,450	110.6
合計	4,147,456	104.5

（注）静岡は「甲信越」に含めて表示しております。

(農業・園芸用タネ資材販売事業)

当事業部門におきましては、営業推進によりオリジナル培土や農薬などの売上が増加した一方で、前期計上していた生産設備・機器等の買い替え需要等による売上が減少したことにより、売上は減少いたしました。

損益面につきましては、間接部門の人件費等の増加や仕入価格の値上げ等により利益率が減少しました。

今後も、関連会社の株式会社むさしのタネのPB品種の種子やオリジナル肥料等のサンプルワークによる営業活動を進めるとともに、農業関連メーカーとの商品開発や肥料メーカー等協力企業との連携を深めることにより商品ラインナップの充実を図り、売上拡大に向けて取り組んでまいります

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高565,272千円（前年同四半期比0.4%減）となりました。また、セグメント利益（営業利益）は6,969千円（前年同四半期比45.6%減）となりました。

(小売事業)

当事業部門におきましては、春の家庭菜園時期に合わせた園芸フェアやワークショップの開催、また、地域の就労支援事業所と協力し、植物に囲まれた中で障害者の方のアート作品を展示するイベントを開催するなど、様々な取り組みを行いました。

コロナ禍からの園芸ブームの終息や6月以降の猛暑日が続いたことにより屋外でのガーデニング等行う一般消費者が減少し、園芸雑貨や花卉類などの売上が減少する中で、野菜苗については、青果物の価格高騰により家庭菜園を始める一般消費者が増加しており売上が増加しました。

今後も、消費者ニーズや国内の食料事情を捉えた商品の提案とマーケティング活動を行いながら、SNS等を利用したイベントや商品等の情報発信、店舗の集客力向上に繋がるイベントの開催などを積極的に行い、売上拡大と収益力の改善に向けて取り組んでまいります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高85,040千円（前年同四半期比9.1%減）、セグメント損失（営業損失）は7,542千円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）9,719千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産の合計は、前連結会計年度末と比べ410,449千円（7.2%）増加の6,087,971千円となりました。これは、現金及び預金の減少163,525千円、受取手形及び売掛金の減少134,052千円、電子記録債権の減少259,477千円、棚卸資産の増加461,853千円、有形固定資産の増加428,235千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末と比べ477,044千円（13.4%）増加の4,034,232千円となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加175,941千円、電子記録債務の減少45,170千円、未払金の増加35,853千円、短期借入金の増加250,000千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末と比べ66,594千円（3.1%）減少の2,053,739千円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しております。そのため、連結業績予想については2024年12月13日の開示時点から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	924,359	760,833
受取手形及び売掛金	1,109,045	974,992
電子記録債権	374,831	115,353
商品及び製品	75,710	116,266
仕掛品	88,262	407,990
原材料及び貯蔵品	190,253	291,822
その他	69,302	143,347
貸倒引当金	△10,065	△7,901
流動資産合計	2,821,698	2,802,705
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,535,901	1,788,828
機械及び装置（純額）	153,482	180,437
土地	721,007	952,966
その他（純額）	157,487	73,881
有形固定資産合計	2,567,879	2,996,115
無形固定資産	74,612	69,276
投資その他の資産	213,331	219,874
固定資産合計	2,855,822	3,285,266
資産合計	5,677,521	6,087,971

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	546,003	721,945
電子記録債務	90,658	45,488
短期借入金	600,000	850,000
1年内返済予定の長期借入金	316,739	325,799
未払金	217,972	253,825
未払法人税等	25,258	585
賞与引当金	67,680	35,150
その他	108,342	102,187
流動負債合計	1,972,654	2,334,982
固定負債		
長期借入金	1,238,325	1,268,309
退職給付に係る負債	15,601	17,041
資産除去債務	138,643	188,110
その他	191,962	225,789
固定負債合計	1,584,532	1,699,249
負債合計	3,557,187	4,034,232
純資産の部		
株主資本		
資本金	724,476	729,404
資本剰余金	605,759	610,687
利益剰余金	762,857	675,952
自己株式	△32,726	△32,726
株主資本合計	2,060,366	1,983,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,381	8,737
その他の包括利益累計額合計	6,381	8,737
非支配株主持分	53,586	61,684
純資産合計	2,120,334	2,053,739
負債純資産合計	5,677,521	6,087,971

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
売上高	4,628,109	4,797,778
売上原価	3,480,192	3,701,113
売上総利益	1,147,916	1,096,664
販売費及び一般管理費	1,299,558	1,316,896
営業損失(△)	△151,641	△220,232
営業外収益		
受取利息	29	421
受取配当金	910	1,148
受取手数料	8,379	7,365
補助金収入	4,971	4,465
受取補填金	10,610	8,397
その他	10,123	7,712
営業外収益合計	35,024	29,512
営業外費用		
支払利息	7,232	11,282
持分法による投資損失	2,156	8,046
その他	1,183	2,916
営業外費用合計	10,571	22,245
経常損失(△)	△127,189	△212,966
特別利益		
固定資産売却益	36	99
補助金収入	37,889	184,483
受取保険金	69,147	—
特別利益合計	107,072	184,582
特別損失		
固定資産除却損	447	676
関係会社株式評価損	—	3,509
リース解約損	3,459	—
特別損失合計	3,907	4,185
税金等調整前四半期純損失(△)	△24,023	△32,568
法人税、住民税及び事業税	29,579	12,810
法人税等調整額	△15,084	17,326
法人税等合計	14,495	30,136
四半期純損失(△)	△38,518	△62,705
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,537	8,097
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△42,056	△70,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
四半期純損失(△)	△38,518	△62,705
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,512	2,356
為替換算調整勘定	△2,951	—
その他の包括利益合計	561	2,356
四半期包括利益	△37,956	△60,349
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△41,494	△68,446
非支配株主に係る四半期包括利益	3,537	8,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)
減価償却費	180,140千円	202,658千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

前第3四半期連結累計期間(自 2023年11月1日 至 2024年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	3,967,246	567,272	93,591	4,628,109	—	4,628,109
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,967,246	567,272	93,591	4,628,109	—	4,628,109
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,825	15,695	4,196	25,717	△25,717	—
計	3,973,072	582,967	97,787	4,653,827	△25,717	4,628,109
セグメント利益又は損失(△)	193,772	12,809	△9,719	196,862	△348,504	△151,641

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△348,504千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年11月1日 至 2025年7月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	野菜苗・苗 関連事業	農業・園芸用 タネ資材販売 事業	小売事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	4,147,465	565,272	85,040	4,797,778	—	4,797,778
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,147,465	565,272	85,040	4,797,778	—	4,797,778
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,918	8,458	2,494	15,871	△15,871	—
計	4,152,383	573,730	87,535	4,813,649	△15,871	4,797,778
セグメント利益又は損失(△)	143,922	6,969	△7,542	143,349	△363,581	△220,232

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△363,581千円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。